

# 医誠会の挑戦！！

職員を守り、医療崩壊、介護崩壊を防止するためグループ内に合計10台の検査機器を導入。



医誠会病院 PCR検査

また、新型コロナウイルスの検査待ちの患者さんのために、前述の2病院で



医療法人医誠会を中核とする医療・介護グループ「ホロニクスグループ」では、グループの医療崩壊・介護崩壊を防ぎ、グループ病院内に新型コロナウイルス感染症を持ち込ませないために、グループ職員、入院患者の新型コロナウイルス遺伝子検査を実施できるよう、RT-PCR法、Lamp法の検査機器10台をグループ病院に導入します。5月1日現在で医誠会病院（大阪市東淀川区）、城東中央病院で検査を実施しており、5月6日までに189名の方の検査を実施しました。



はトリアージテント（仮設待合室）を設置し、仮に陽性の患者さんが来られても、感染させないためのあらゆる施策に取り組んでいます。また、マスク・ガウン・エプロン等の感染防護具の確保にグループ全体で取り組んでおり、3月13日には、独自ルートで2万8千枚の



トリアージ・テント（仮設待合室）外観



トリアージ・テント（仮設待合室）内部

## Lamp 法またはPCR検査を受けた職員のコメント

3日間体調を崩し、発熱がありました。今までだったら、市販の薬を服用して安静にするぐらいの対処だったと思いますが、この時期「もし私がコロナの感染源になったら？利用者さんやスタッフに感染させたら？」と不安でした。いち早く医誠会病院に導入されたPCR検査を受けて3時間後に「陰性(-)」の報告を受けた時の、安心感はとっても大きく、感謝しています。早期に検査を受けれたことは、一緒に暮らす家族も安心しています。今日から普通に出勤しています。  
グループ施設 介護福祉士

ウイルスは目に見えませんが、新型コロナウイルス感染症は無症状の方も多くおられると聞いています。利用者さんのことを考えるといろいろなことが不安でしたが、早期にグループ職員が検査を受けられる環境を作っていただいたことに感謝しています  
グループ施設 看護師

マスクを確保しました。患者さん、取引先企業、行政からもマスクの寄付を頂くなど、幅広くステークホルダーに支援をいただきながら、グループの医療供給体制の維持に取り組んでいます。

